ゆっくり走ろう北海道

No.176　公益社団法人 北海道交通安全推進委員会

飲酒運転根絶ロゴマーク

令和元年度 定時社員総会 会長挨拶

公益社団法人 北海道交通安全推進委員会
会長　**吉本淳一**

定時社員総会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本日は、時節柄大変ご多忙中にもかかわらず、ご臨席を賜りましたご来賓の方々に、厚くお礼申し上げます。

また、会員の皆様におかれましても、何かとお忙しいこの時期に全道各地からご参集いただきまして、心から感謝申し上げますとともに、日頃から、それぞれのお立場で交通安全運動に熱心に取り組まれ、ご活躍されておりますことに対し、深く敬意を表する次第であります。

当委員会は、交通事故のない平和で明るい郷土北海道を築くため、会員であります道内市町村や団体の皆様方と連携を図りながら、交通安全運動を積極的に展開しているところであります。

さて、平成30年の北海道内の交通事故死者数は、前年に比べ、7人少ない１４１人となり、交通事故統計のある昭和22年以降で最少となった前年を更に下回り、過去最少を更新したところであります。

これもひとえに、本日お集まりの会員の皆様を始め、関係機関・団体が緊密に連携を図りながら、交通安全運動に真摯に取り組んでこられた賜であり、改めて厚くお礼申し上げます。

しかしながら、昨年の交通事故死者数の半数以上を高齢者が占めていることや、飲酒運転が原因による死亡事故が、依然として後を絶たないなど課題もありますので、引き続き各種の交通安全運動を道民総ぐるみで展開し、「交通事故のない安全で安心な社会」を目指して参ります。

本年における具体的な交通安全運動につきましては、北海道が策定した推進方針に基づき、道や市町村を始めとする関係機関・団体と緊密に連携し、飲酒運転の根絶対策をはじめ、創意工夫を凝らした効果的な各種事業を展開して参りますので、皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げる次第であります。

また、交通遺児育英事業につきましても、奨学金制度の更なる充実強化に向け、検討を開始したところであり、修学意欲のある交通遺児等の皆さんが、経済的理由でその道が閉ざされることのないように、引き続き支援をして参ります。

結びに、皆様方の今後益々のご発展とご健勝をご祈念申し上げ、開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

令和元年度定時社員総会

令和元年度定時社員総会が6月7日、ホテルポールスター札幌で開かれました。

総会に先立ち、交通事故により尊い命を失われた方々のご冥福をお祈りし、黙祷を捧げました。

吉本淳一会長の挨拶の後、築地原康志道環境生活部長、村田憲俊道議会議長、高倉孝司道警本部交通部長にご挨拶をいただき、またご来賓の土井寿彦道教育委員会学校教育監をご紹介しました。

次に、北村洋北海道トラック協会専務理事を議長に選任し、議事では、報告事項の1件の説明の後、決議事項2件が原案通り承認されました。

役員の補充選任では、理事3名の辞任に伴い、新たに理事3名を選任したほか、総会後の理事会で、後任の筆頭副会長に渡辺明彦氏、副会長に宮司正毅氏がそれぞれ選任されました。

北海道交通安全推進委員会
令和元年度事業計画（概要）

Ⅰ　事業計画の概要

平成31年の交通安全運動は、北海道が策定した「平成31年における交通安全運動の推進方針」の、年間スローガン「ストップ・ザ・交通事故～めざせ安全で安心な北海道～」を踏まえ、交通安全運動の重点である「子供と高齢者の安全確保」、「飲酒運転の根絶」、「スピードダウン」、「シートベルトの全席着用」、「居眠り運転の防止」、「自転車の安全利用」、「安全意識の向上」を広く道民が参加する交通安全運動として取り組むほか、4期40日の期別運動、交通安全の日等の運動等について、道や市町村をはじめとする関係機関・団体と緊密に連携し、創意工夫を凝らした効果的な事業を展開します。

更に、飲酒運転が原因による死亡事故が後を絶たない状況が続いていることから、交通安全運動と併せて飲酒運転の根絶対策を積極的に取り組み、道民一人一人に「飲酒運転をしない、させない、許さない」を広く定着させ、飲酒運転の根絶を目指します。

また、道民の善意で支えられている交通遺児育英事業については、資金の効果的な運用を図りながら、遺児の勉学に必要な資金の無利子貸付（3割給付つき）を行うことにより、交通遺児の皆さんの修学に貢献します。

更に、交通安全運動の実践的組織である地区交通安全運動推進協議会や北海道交通安全母の会に対してその活動を支援することを通じ、効果的な交通安全運動を推進します。

Ⅱ　事業計画

第1　自主交通安全推進事業

（公益目的事業1）

1　交通安全意識向上事業

（1）交通安全地域指導者セミナー
（2）交通安全研修会等への講師の派遣
（3）飲酒運転根絶研修

2　調査・研究事業

（1）交通安全推進員の設置
（2）デイ・ライト事業の点灯率調査
（3）交通安全推進員の研修

3　広報事業

（1）交通安全総決起大会の開催
（2）新聞紙面を活用した広報活動
（3）広報啓発活動支援事業
（4）交通安全ニューメディア啓発
（5）飲酒運転根絶の日決起大会の開催

4　表彰事業

（1）ゼロ運動顕彰
（2）指導員・奉仕員表彰
（3）母の会会員表彰
（4）一般表彰
（5）業務貢献表彰

第2　交通安全活動支援事業

（公益目的事業2）

1　交通安全啓発支援事業

（1）広報啓発活動支援事業
（2）デイ・ライト運動推進事業
（3）自転車の交通事故防止事業
（4）期別運動
（5）交通安全啓発活動事業
（6）交通安全ライブラリー事業
（7）幼児の事故防止事業
（8）市町村広報活動の支援事業

2　交通安全運動の展開

（関係機関等との連携事業）

（1）飲酒運転根絶運動
（2）スピードダウン運動
（3）シートベルト全席着用
（4）居眠り運転防止
（5）交通安全の日等の運動
（6）特別対策

3　交通事故防止支援事業

高齢者の交通事故防止事業

第3　交通遺児育英事業

（公益目的事業3）

1　交通遺児就学助成事業

（1）資金造成事業
（2）奨学金募集等事業
（3）広報啓発活動事業
（4）称賛事業
（5）奨学金返還未納者調査

2　作文募集事業

第4　交通安全推進団体交付金事業

（その他事業）

1　地区活動の充実
2　地区交通安全独自活動への支援
3　母親交通安全活動の強化

第5　管理事業（法人会計）

平成30年度北海道交通安全功労者等表彰式

2月1日、道庁赤レンガ庁舎で北海道交通安全功労者等の表彰式が行われました。

主催者の北海道から阿部啓二副知事、北海道交通安全推進委員会から吉本淳一会長の挨拶があり、永年にわたり地域における交通安全運動の地道な努力と活躍に対して、感謝と励ましの言葉がありました。

はじめに北海道知事表彰として、阿部副知事から北海道社会貢献賞16名・2団体（交通安全功労者）、北海道善行賞46名に（交通安全実践者）に授与されました。

続いて北海道交通安全推進委員会会長表彰として、吉本会長から交通安全指導員・交通安全奉仕員表彰174名、交通安全母の会会員表彰18名、交通安全一般表彰2名に授与されました。

その後、来賓の北海道議会志賀谷隆環境生活委員長、北海道警察本部西川寿典交通部長から祝辞があり、受賞者を代表して北海道社会貢献賞を受賞した、河崎快二さんがお礼の言葉と今後の抱負を述べ閉会しました。

春の全国交通安全運動に伴う街頭啓発

5月11日から20日までの10日間、春の全国交通安全運動の一環としてJR札幌駅周辺や野村証券札幌支店周辺で街頭啓発を実施しました。

この啓発では、交通安全対策七者連絡会議が主体となり、交通安全ののぼり旗などを掲げるとともに、広報啓発CDを流し通過車両や、歩行者に対し交通安全を呼びかけました。

春の全国交通安全運動前日の5月10日には、北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり推進会議と交通安全対策七者連絡会議が主催で、春の地域安全運動・春の全国交通安全運動「安全・安心なまちづくり」道民の集いをかでるホールで開催し、主催者挨拶・来賓祝辞の後に、大通幼稚園の園児の皆さんに、元気いっぱい交通安全と防犯のメッセージを発信していただきました。

その後、昨年発生した北海道胆振東部地震で被災された厚真町の町長の宮坂尚市朗様に「平成30年北海道胆振東部地震からの教訓」と題して、ご講演をいただきました。

最後に北海道警察音楽隊によるコンサート「ミュージックパトロール2019」を、「犯罪や事故のない安心して暮らせる北海道の実現」に向けて披露していただき閉会しました。

交通事故死ゼロを目指す日　街頭啓発

5月20日、道庁赤れんが庁舎前庭において、春の全国交通安全運動中の「交通事故死ゼロを目指す日」に、飲酒運転根絶戦隊「飲んだら乗れんジャー」をゲストに、シートベルト効果体験を観光客や通行人に体験していただきシートベルトの大切さを理解してもらうとともに、ノンアルコールビール等を配布し、広く道民に交通ルールの遵守や飲酒運転根絶とシートベルトの着用を呼びかけ、交通安全意識の高揚を図りました。

令和元年「飲酒運転根絶の日」決起大会

7月13日、サッポロファクトリーのアトリウムで、令和元年「飲酒運転根絶の日」決起大会を開催しました。

この「飲酒運転根絶の日」とは、「北海道飲酒運転の根絶に関する条例」で、平成26年7月13日に小樽市で3人が死亡、1人が重傷という悲惨な飲酒運転によるひき逃げ事件が発生した日を道民が一体となって飲酒運転を根絶するための取組を行う日とされたものです。

当日は、Air-Gエフエム北海道の高山秀毅さんに総合司会をしていただき、オープニングは、スペシャルゲストの桜庭和さんのライブで始まりました。その後、鈴木直道北海道知事、山岸直人北海道警察本部長からの主催者代表挨拶、そして高橋亨北海道議会副議長からの来賓代表挨拶に続き、もう一人のスペシャルゲストである小澤ちひろさんに飲酒運転根絶道民宣言をしていただきました。

セレモニー終了後はスペシャルゲストのお二人にライブショーで会場を盛り上げていただき、更には高山さんを交えた3人の飲酒運転根絶に向けたトークショーでは、SDD（STOP　DRUNK　DRIVING）の飲酒運転防止プロジェクトの活動紹介やアルコールの知識を身に付けるためのアルコール常識クイズを行いました。最後に北海道から1日でも早く飲酒運転を根絶するよう会場の参加者が一体となって「飲酒運転をしない、させない、許さない」を唱和し、「飲酒運転根絶の日」決起大会を終了しました。

大会終了後には、スペシャルゲストのお二人はCDの販売会を実施し、売上金の一部を交通遺児育英事業や交通遺児を出さないための交通安全活動に寄付していただきました。

夏の交通安全運動「セーフティコール」

7月11日、道庁赤れんが庁舎前庭で、7月11日から20日までの10日間にわたり展開される「夏の交通安全運動」の全道統一行動日に街頭啓発「セーフティコール」が開催されました。

この催しは、広く道民に交通ルールの遵守や飲酒運転の危険性を呼びかけ、交通安全意識の高揚を図ることで、交通事故防止や飲酒運転根絶を図ることを目的とするものです。

当日はHTBの夕方の情報番組「イチオシ!!」の月曜から水曜日のレギュラーを務めるタレントの木村愛里さんをゲストに迎え、交通安全メッセージの読み上げや啓発開始宣言、街頭啓発に参加していただき、歩行者や通過車両に交通安全を呼びかけました。

会員異動状況

退　会

区　分	団　体　名	郵便番号	住　　所	退　会　日
正会員	一般社団法人北海道水産会	060-0003	札幌市中央区北３条西７丁目１番地	平成31年3月31日
賛助会員	北海道計器工業株式会社	063-0834	札幌市西区発寒１４条１３丁目２－１２	平成31年3月31日

交通事故死ゼロ日数顕彰

2月	3月	4月	5月	6月	7月【予定】
5500日▶京極町	3500日▶利尻町	3000日▶歌志内市	3000日▶真狩村	1500日▶長万部町	3500日▶上富良野町
4500日▶留寿都村	2000日▶上士幌町	2000日▶浜頓別町	2500日▶沼田町	初山別村	2500日▶訓子府町
1000日▶赤井川村	700日▶余市町	1000日▶共和町	2000日▶赤平市	1000日▶枝幸町	1500日▶雨竜町
700日▶七飯町	白老町	東神楽町	1000日▶新篠津村	700日▶弟子屈町	乙部町
苫前町	上川町	700日▶今金町	えりも町	500日▶滝川市	下川町
利尻富士町	500日▶新十津川町	占冠村	700日▶鷹栖町	恵庭市	1000日▶和寒町
置戸町	八雲町	500日▶芦別市	雄武町	松前町	500日▶厚真町
500日▶美瑛町	せたな町	砂川市	大樹町	音更町	比布町
天塩町	士別市	増毛町	幕別町	芽室町	
広尾町	大空町		500日▶日高町	白糠町	
300日▶千歳市	300日▶夕張市		新冠町	標津町	
石狩市	北広島市		佐呂間町	300日▶岩見沢市	
200日▶江別市	北見市		湧別町	美唄市	
			浦幌町	伊達市	
			中標津町	富良野市	
			300日▶三笠市	根室市	
			登別市		
			北斗市		
			200日▶函館市		

皆様からのご支援、ありがとうございました。

全国共済農業協同組合連合会 北海道本部

小林豊子きもの学院
北海道本部・北海道講師会

一般社団法人北見地方自動車整備振興会

八剣山パークゴルフ場

一般社団法人空知建設業協会

（敬称略）

受領月	寄付者名	種　類	区　分	寄付金額（単位：円）
12　月	利尻町交通安全推進協議会	特定	募金（箱募金）	1,418
1　月	小林豊子きもの学院 北海道本部・北海道講師会	特定	募金	300,000
	森サイクル	特定	募金	3,182
	室蘭地方中古自動車販売協会	特定	募金	20,000
	株式会社アペックス	特定	募金	7,003
2　月	一般社団法人北見地方自動車整備振興会	特定	寄付	500,000
	植村　泰也	特定	寄付	2,000
5　月	植村　泰也	特定	寄付	2,000
	八剣山パークゴルフ場	特定	募金	79,000
	一般社団法人空知建設業協会	特定	募金	286,000
6　月	吉野　三郎	特定	寄付	110,000
	浦幌町生活安全推進協議会	特定	募金（箱募金）	3,084
	植村　泰也	特定	寄付	2,000

3　月	全国共済農業協同組合連合会 北海道本部	特定	現物 （交通安全広報車）	4,752,808

こうつうあんぜんたんぼう

交通安全探訪

羽幌町
（留萌振興局）

「はぼろ甘エビ祭り」で新鮮な甘エビを浜値で販売!!

羽幌町は、北海道北部の日本海側、留萌管内のほぼ中央に位置し、東は天塩山系ピッシリ山を背景として、西は日本海に面し、沖合には、天売島と焼尻島のふたつの島を有する町です。天売島は、世界でも珍しい、人と海鳥が共生する島、焼尻島は緑と原生花の島で、「暑寒別天売焼尻国定公園」に指定されています。

また、羽幌町で獲れる甘エビは日本有数の漁獲量を誇っており、例年6月下旬に行われる「はぼろ甘エビ祭り」では新鮮な甘エビを浜値で販売するほか、甘エビを使った創作料理を味わう事ができ、多くの観光客で賑わいを見せております。

その他にも「グリーンアスパラ」や「ねばりながいも」などの農産物やストレスのない環境の中、潮風を受け豊富なミネラルを含んだ牧草を食べて育った「焼尻めん羊」など、豊富な資源に恵まれた自然豊かな羽幌町に一度足を踏み入れてはいかがでしょうか。

さて、当町の交通事故の状況でありますが、令和元年6月4日現在での死者ゼロ日数は1350日となっています。このような1000日を超える記録を継続できているのも日頃から関係機関・団体・町民一人ひとりが一丸となり、交通安全運動を展開することで保たれているものと感じています。

「交通事故ゼロは羽幌町から」を合言葉に啓発活動

また、年4期、期別交通安全運動に取り組んでおり、春、秋の全国交通安全運動時には町民一人ひとりの安全意識の結集と「交通事故ゼロは羽幌町から」を合言葉に、住民が自ら街頭啓発活動を実施し、通学児童や歩行者、特に子どもと高齢者、自転車利用者等の安全確保に重点を置き「町民総ぐるみ街頭啓発運動」を行っております。

啓発内容につきましては、各町内会等に街頭での啓発依頼をし、116箇所に啓発員を設け、交通安全を呼び掛けると共に通学園時、通学児童等の歩行者の安全な通行の確保に努めていただきました。

このほか、新入園、新入学の園児、児童、生徒には、学校（園）内や家庭の中で交通安全についての話し合い等の機会を作ってもらい、交通安全意識の喚起を促すため、交通安全啓発グッズとして今年度は当町のマスコットキャラクター「オロ坊」がプリントされたエコバックや交通安全ノート、ハンカチ等を配布しております。

さらに、通過車両のスピード抑制と運転者の交通安全意識の喚起を図るため、「オロロンラインパトライト作戦の日」を設け、パトライトを点灯し、安全運動を呼び掛けている他、安全旗による啓発、「バイクの日」、「飲酒運転根絶の日」のほか、25歳未満の若年者を対象とした「ヤングドライバーの集い」では国道沿いで啓発活動を行い事故防止に努めています。

最後になりますが、当町を南北に縦断している国道232号線のオロロンラインでは、広い原野や牧草地、日本海の碧さや空の青さといった自然溢れる景色を楽しむことができます。

観光やお仕事等で当町をお車で訪れる皆さまには充分にスピードを落として景色を楽しまれることをお勧めさせていただき、全道の皆様の交通安全を祈りつつ筆を置きたいと思います。

交通安全推進員の声

空知地区
昆野　茂

科学技術（ＡＩ）の進展の中で

四月から空知地区交通安全推進員としてお世話になっております。

これまでは一ドライバーとして安全運転に努めてまいりました。これからは推進役を務めることになり、重責を感じながら勤務しております。

さて、車は操作性、安全性、経済性などの向上を目指して発展してきました。現在においてはマニュアル車が減少し、ほとんどの乗用車がオートマチック車です。またパワーステアリングでハンドル操作も軽くできます。高齢者でも楽に運転することができるようになりました。しかし、便利なものは一歩間違えれば大きな事故を引き起こしてしまいます。それは使い慣れていればいるほど大きな事になります。そこには「慣れ」や「思い込み」があるのです。

運転者も、歩行者も誰でも「ヒヤッ」とした経験は一度や二度はあると思います。「ヒヤッ」とした思いを忘れなければ事故は減少すると思うのですが、人間はなかなかそう長く継続できません。

六月一八日ＮＨＫニュースで子どもの交通事故防止の取組が放送されました。六歳の子どもの左右の視野は大人（約百五十度）の約60％（約九十度）。子どもには車が見えていないから道路から飛び出すようです。

近年、ＡＩを活用した様々な自動車の安全補助装置等が発表されています。タクシーのように行先を告げると、目的地まで届けてくれるようになるのも未来の話ではない気がします。

今後、私達は自分の劣る部分を科学技術の進展によって補完しながら車社会を生きていくことになるでしょう。

十勝地区
加須屋　加織

交通事故死ゼロをめざして

4月より、十勝地区交通安全推進員を務めさせていただいております加須屋と申します。

推進員となり、あたりまえに運転していた車の便利さ、それにともなう責任の大きさを改めて実感しています。道路脇のいたる所に「交通安全」の旗が掲げられており、予想よりはるかに多くの方々が無事故を願い活動して下さっていたことに感謝し、願いを無駄にすることなく〝安全運転で家まで帰ろう〟と気を引き締めるきっかけになっています。

事故を起こしたいと考えるドライバーは誰一人としていないはずですが、無くなる事なく起きてしまう交通事故。ニュースでは飲酒運転、高齢者の事故、幼い命がドライバーの「つい、うっかり」により犠牲になる事故など、胸が痛くなる事故状況が伝えられます。事故の状況は様々であっても、ある日突然大切な宝物を失われた遺族の悲しみや怒りは変わることなく、癒えることもないでしょう。

交通事故は、運転中の一瞬の不注意により取り返しのつかない事態を招いてしまいます。私を含め誰にでも加害者になる可能性があることを再度認識し、より一層気持ちを引き締め安全運転を心がけていきたいと思います。

まだまだ未熟で手さぐりの毎日ですが、悲惨な事故が少しでもなくなるよう、交通安全推進員として地域ドライバーの意識向上を目指し活動していきたいと思います。

65th

おかげさまで
創業65周年
これからも
変わらぬご愛顧の程
御願い申し上げます

白馬堂印刷株式会社

代表取締役会長　花井　馨
代表取締役社長　名畑　裕敏

本　社／〒064-0823 札幌市中央区北3条西25丁目
TEL.011-621-1471　FAX.011-621-8551
発寒工場／〒063-0829 札幌市西区発寒9条14丁目516
TEL.011-665-8881　FAX.011-669-2656

日高地区 …… 浦河町

浦河町では、今年度から「反射材着用で『交通死亡事故ゼロのまち』」という事業を実施しています。歩行者や自転車が外出時に反射材を着用していたにも関わらず交通事故に遭った場合は見舞金を支給するものです。この事業により、多くの町民が反射材を着用し１件でも交通事故を減らしたいと考えています。

根室地区 …… 根室市

根室市で「春の全国交通安全運動」の啓発行事として、本年5月19日一日警察署長に地元の新日本プロレスに所属する人気レスラー「アンドレザ・ジャイアント・パンダ」ファミリーを任命、通りゆく市民に交通安全を街頭で呼びかけました。

署長には「アンドレザ・ジャイアント・パンダ」副署長に妻の「ティンティン」交通課長に長男の「ラジャ・パンダ」が任命され、交通安全と地域の安全、根室市、道民の安全を願い、交通事故防止を訴えました。

後志地区 …… 赤井川村

赤井川村では、4月8日～12日の春の新入学（園）期の交通安全運動期間に登校時の生徒を事故から守ることを目的として、交通安全指導員や建設協会などとともに交通安全の旗を持ち街頭啓発を行いました。5月11日～20日の春の全国交通安全運動期間には村内小学生による防災行政無線を使用した交通安全の呼びかけを行いました。

上川地区 …… 東神楽町

東神楽町では、４月から６月にかけて町内の小中学校や幼稚園、保育園において、交通安全教室を実施しました。東神楽交番の警察官から横断歩道での注意事項などを教えてもらった後に、実際の道路や交差点を通行して、正しい横断歩道の渡り方や自転車の乗り方を実践しました。

「IT」で「幸せ」に挑む。

HBA

株式会社HBA

〒060-0004 札幌市中央区北4条西7丁目1番地8
TEL：011-231-8301　FAX：011-281-0915
www.hba.co.jp

令和元年８月号　公益社団法人北海道交通安全推進委員会　札幌市中央区北5条西6丁目第二道通ビル6階　電話（011）221-6666　FAX（011）221-7873
URL: http://www.slowly.or.jp　　e-mail: safety@slowly.or.jp